

青越え伊勢街道

(初瀬街道)



AWOGOM

青越え伊勢街道 (初瀬街道)

なら風景街道

「日本風景街道」とは？

「日本風景街道」は、道路とその沿道や周辺地域を舞台に、地域住民や活動団体、企業や大学関係者と行政などが一体となった自主的な活動を促進し、地域の活性化や観光振興に寄与することを目的とした国土交通省の施策です。景観や自然・歴史・文化などを活かした個性豊かな地域づくり、美しい環境づくりを目指して、平成19年度から本格的な活動が始まりました。

風景街道「伊勢街道」連絡協議会

風景街道「伊勢街道」連絡協議会



長谷寺 本堂舞台



室生区 大野の里を行く

青越え伊勢街道 (初瀬街道)

青越え伊勢街道の概要

大和と伊勢を結ぶ道は古代からあったといわれている。それは伊勢志摩の新鮮な海の幸を大和朝廷に献上する贄の道であった。壬申の乱(672)の際、吉野宮滝を発った大海人皇子一行は宇陀を経て宇陀川沿いを下り、その夜名張に着いた。この後、伊賀の柘植から鈴鹿の関を通り、北伊勢では迹太川(現在の朝明川または米洗川)のほとりで伊勢神宮を遥拝し、戦勝を祈願した後、美濃から近江に攻め入った。

勝利を得た大海人皇子軍は、帰路もほとんど同じコースをとり、9月12日に飛鳥浄原宮で天武天皇として即位する。

天武天皇は伊勢神宮に対する崇拜の念が強く、娘の来皇女を斎王として伊勢に遣わしている。斎王とは神宮の祭祀のため奉仕した未婚の内親王・女王のことで、天皇の即位時に占いで選ばれ、その天皇の一代の間の務めを原則とした居つきの巫女のことである。

その後、大和から斎王や勅使が賑やかに伊勢へ向かった道が、大和からは「青越え伊勢街道」伊勢からは「初瀬街道」と呼ばれる、現在の国道165号線沿いの道である。

青越え伊勢街道は、桜井市初瀬から宇陀市榛原区萩原の札の辻で伊勢本街道と別れ、名張・阿保を越えて松阪市六軒町へ出て、参宮街道に合し松阪・伊勢に至る道で、高取藩の植村家(3万石)が参勤交代で通過。初瀬宿には

本陣、三本松宿には藤堂藩支配の本陣と茶屋、名張宿には本陣・脇本陣・問屋などの町制度も承認されていた。

江戸時代後期から参宮客で賑わった青越え伊勢街道も、鉄道の開通により徒歩での参宮が激減。街道も国道の新設や鉄道の架設、団地やゴルフ場の造成によって消滅し、その一部が里道として残るのみである。沿道の宿場町には、現在も伊勢参りの講札や常夜灯が残され、往時の賑わいを伝えている。



大海人皇子が、斎王が伊勢に向かい、
本居宣長が大和を目指した
歴史ロマンをたどる道

青越え伊勢街道

(初瀬街道)

(1) 初瀬

(2) 西峠

(3) 札の辻

(4) 山辺三

(5) 大野

(6) 三本松

宇陀市
室生区

宇陀市
榛原区

宇陀郡
曾爾村

津市
美杉村

伊勢本街道

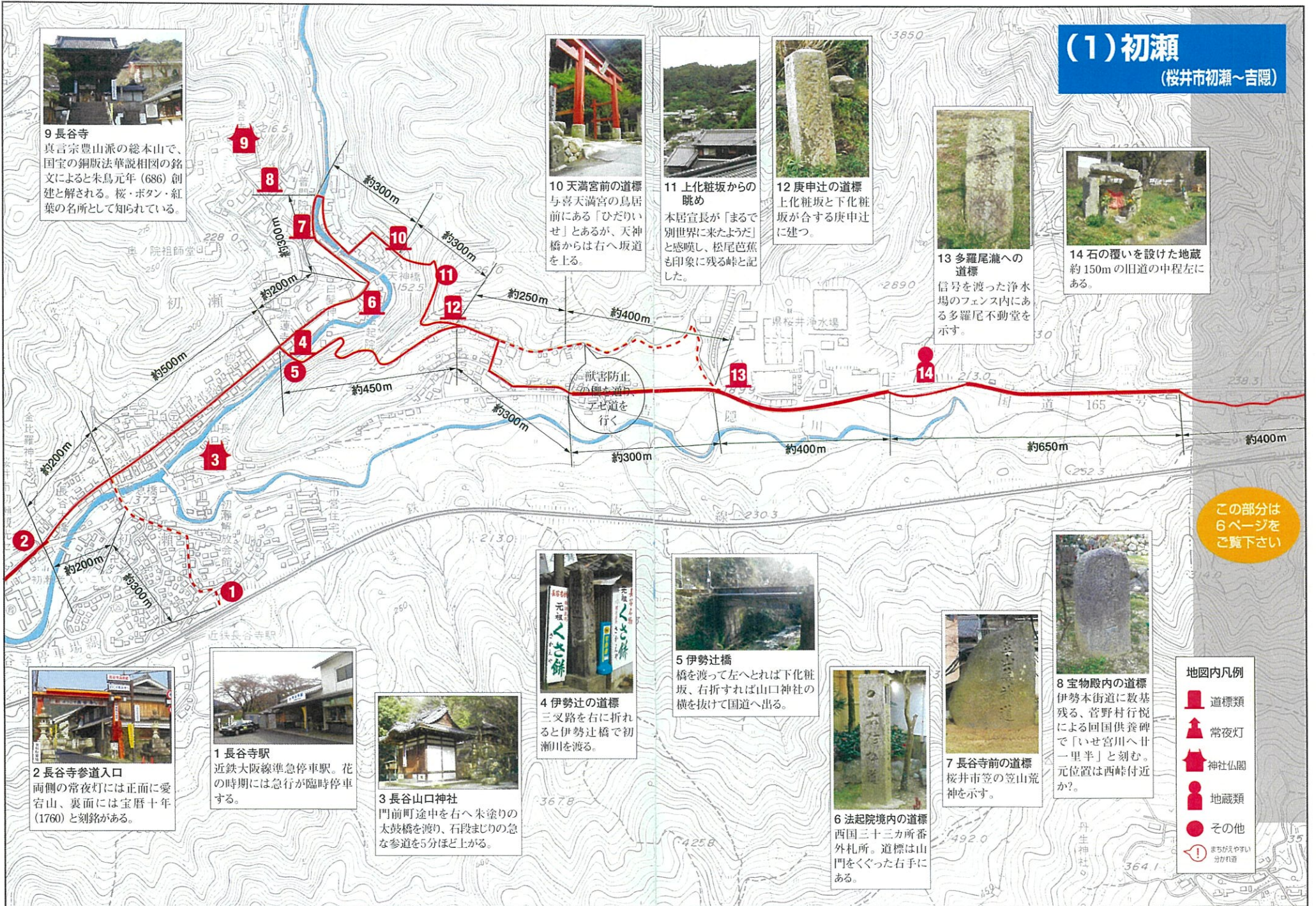
地図内凡例

- 道標類
- 常夜灯
- 神社仏閣
- 地藏類
- その他
- まちがえやすい分かれ道

歩く速さで見えてくるものがある。
歩くからこそ出合うものがある。
いにしへの旅人の速さで視点で
歴史の道をたどってみよう。

◆ 目次	青越え伊勢街道の概要	1
	青越え伊勢街道のルート	2
	(1) 初瀬	4
	(2) 西峠	6
	(3) 札の辻	8
	(4) 山辺三	10
	(5) 大野	12
	(6) 三本松	14
	索引	16

(1) 初瀬 (桜井市初瀬～吉隠)



9 長谷寺
真言宗豊山派の総本山で、国宝の銅版法華説相図の銘文によると朱鳥元年(686)創建と解される。桜・ボタン・紅葉の名所として知られている。



10 天満宮前の道標
与喜天満宮の鳥居前にある「ひだりいせ」とあるが、天神橋からは右へ坂道を上る。



11 上化粧坂からの眺め
本居宣長が「まるで別世界に来たようだ」と感嘆し、松尾芭蕉も印象に残る峠と記した。



12 庚申辻の道標
上化粧坂と下化粧坂が合する庚申辻に建つ。



13 多羅尾瀬への道標
信号を渡った浄水場のフェンス内にある多羅尾不動堂を示す。



14 石の覆いを設けた地藏
約150mの旧道の中程左にある。



4 伊勢辻の道標
三叉路を右に折れると伊勢辻橋で初瀬川を渡る。



5 伊勢辻橋
橋を渡って左へとれば下化粧坂、右折すれば山口神社の横を抜けて国道へ出る。



6 法起院境内の道標
西国三十三カ所番外札所。道標は山門をくぐった右手にある。



8 宝物殿内の道標
伊勢本街道に数基残る、菅野村行悦による回国供養碑で「いせ宮川へ廿一里半」と刻む。元位置は西峠付近か?。



7 長谷寺前の道標
桜井市笠の登山荒神を示す。

この部分は6ページをご覧ください

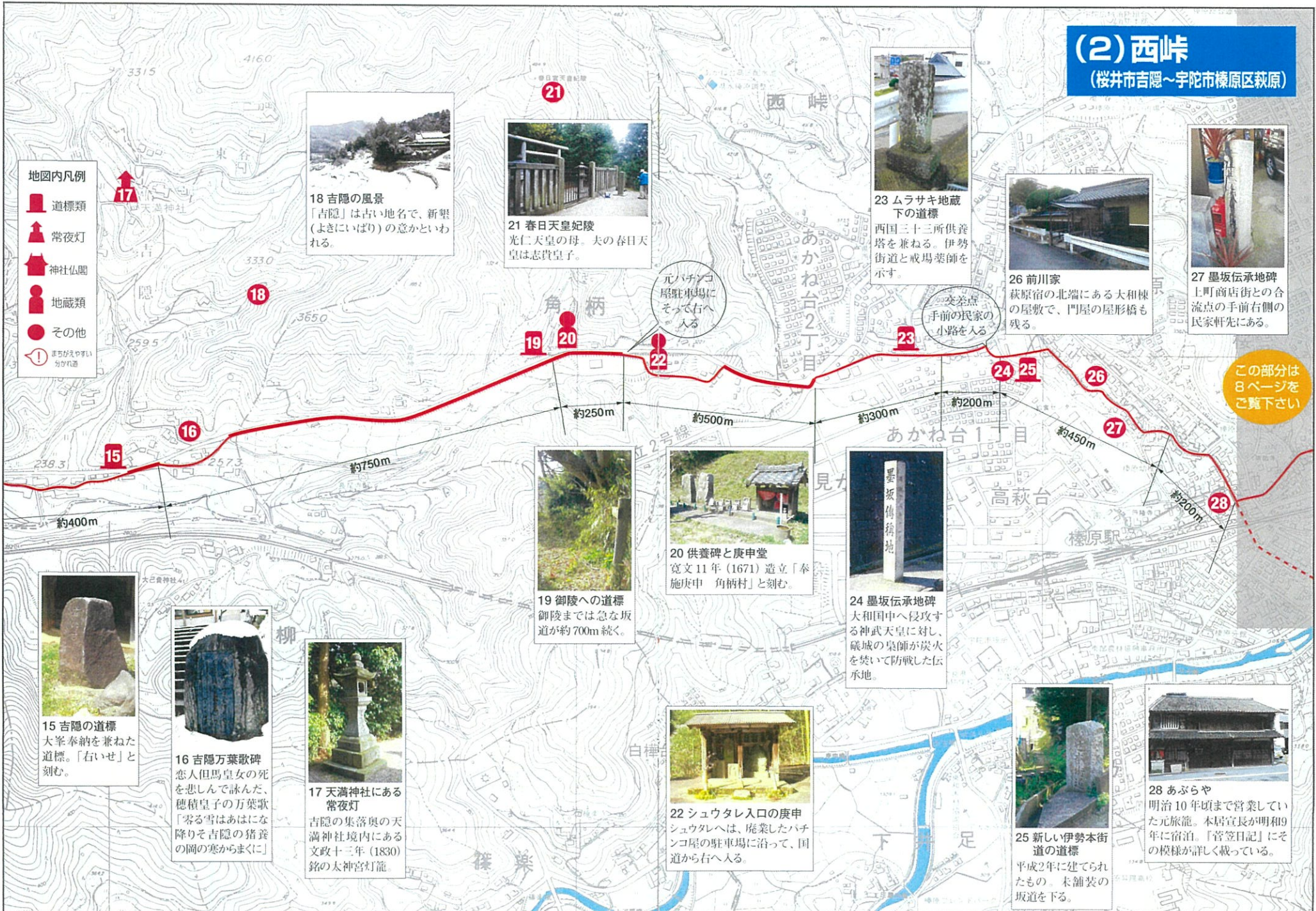
- 地図内凡例
- 道標類
 - 常夜灯
 - 神社仏閣
 - 地藏類
 - その他
 - まちがえやすい分かれ道

(2) 西岐

(桜井市吉隠～宇陀市榛原区萩原)

地図内凡例

-  道標類
-  常夜灯
-  神社仏閣
-  地蔵類
-  その他
-  まちがえやすい分かれ道



18 吉隠の風景
「吉隠」は古い地名で、新掣(よぎにいばり)の意かといわれる。



21 春日天皇妃陵
光仁天皇の母。夫の春日天皇は志貴皇子。



23 ムラサキ地蔵下の道標
西国三十三所供養塔を兼ねる。伊勢街道と戒場薬師を示す。



26 前川家
萩原宿の北端にある大和棟の屋敷で、門屋の屋根橋も残る。



27 墨坂伝承地碑
上町商店街との合流点の手前右側の民家軒先にある。

この部分は
8ページを
ご覧下さい



15 吉隠の道標
大峯奉納を兼ねた道標。「右いせ」と刻む。



16 吉隠万葉歌碑
恋人但馬皇女の死を悲しんで詠んだ、穂積皇子の万葉歌「零る雪はあはにな降りそ吉隠の猪養の岡の寒からまくに」



17 天満神社にある常夜灯
吉隠の集落奥の天満神社境内にある文政十三年(1830)銘の大神宮灯籠。



19 御陵への道標
御陵までは急な坂道が約700m続く。



20 供養碑と庚申堂
寛文11年(1671)造立「奉施庚申 角柄村」と刻む。



24 墨坂伝承地碑
大和国中へ侵攻する神武天皇に対し、磯城の皇師が炭火を焚いて防戦した伝承地。



22 シュウタレ入口の庚申
シュウタレへは、廃業したハチンコ屋の駐車場に沿って、国道から右へ入る。



25 新しい伊勢本街道の道標
平成2年に建てられたもの。未舗装の坂道を下る。



28 あぶらや
明治10年頃まで営業していた元旅館。本居宣長が明和9年に宿泊。「菅笠日記」にその模様が詳しく載っている。

(3) 札の辻

(宇陀市榛原区萩原～長峯)

- 地図内凡例
-  道標類
 -  常夜灯
 -  神社仏閣
 -  地蔵類
 -  その他
 -  まちがえやすい分かれ道



29 角石の道標
伊勢本街道との分岐点。高札場のあった札の辻に建つ。



30 太神宮灯籠
御室御所(仁和寺)御寄附の銘がある。



36 国道との合流点
ここから街道は国道と近鉄の線路と重なる。

旧街道は
すでになく
なっている



31 宗祐寺
融通念仏宗の寺院。重文の木造多聞天立像と仏画三幅を蔵する。



35 まち外れの道標
道標は観音寺参道を示す。杉の木の後ろに庚申が並ぶ。

この部分は
7ページを
ご覧下さい



33 石標
「往来安全 江戸屋」



32 福地の町並み
榛原の伊勢街道で唯一町家が続いている。



37 墨坂神社
崇神天皇が疫病を鎮めるため赤盾8枚、赤矛8竿をもって墨坂神を祭ったとされる。文安6年(1449)天の森から現在地に遷座する。



38 天野橋
伊勢本街道はこの橋を渡り、川沿いに内牧へと続いている。



34 庚申堂の辻の道標
「右いせ 左はやま道」



38 伊勢本街道

(4) 山辺三

(宇陀市橿原区天満台～室生区緑川)



39 天満台東入口
交差点を右折して室生ダム沿いの道を行く。



40 山辺赤人の墓道標
宝暦年間(1751～1764)に造られた「山部の赤人古跡これより八丁北」。



42 供養塔
宇陀西国三十三カ所供養塔。



43 常夜灯
「村中安全」(化3年(1846)5月建立)。



44 篠畑神社
「日本書紀」の垂仁天皇の条に、倭姫命が八咫鏡を奉祭した篠畑に比定される。



47 室生区境の峠
旧道は左側の山手を通っていたとの説もある。



48 半焼橋
緑の道標から右側の橋を渡って、すぐ左折して線路沿いに坂道を下る。



45 地藏堂
藤本家の前にある。



46 エノキの巨樹
別名ヨノミ。幹回り約3.5mもある。



41 ぬれ地藏
舟形の窪みに半肉彫りした地藏立像。ダムが増水すると、裾まで水没する。裏山から水が落ちることから名付けられた。

旧街道は通行不能

この部分は9ページをご覧ください

- 地図内凡例
- 道標類
 - 常夜灯
 - 神社仏閣
 - 地藏類
 - その他
 - まちがえやすい分かれ道

(5) 大野

(宇陀市室生区大野～元三)



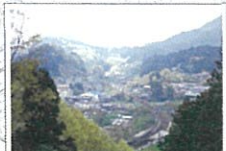
49 大野の道標
「右いせ道・天保十一年(1840)向湖への分岐にあったとされる。



50 室生寺への石標
街道はここから右へ坂道を下る。



55 北向き地藏
えび坂の途中右側にある。



56 えび坂からの眺め
眼下に近鉄の線路と室生口大野駅が見渡せる。



52 大野寺への道標
大野寺へは右折して宇陀川沿いに約300m。



53 大野海神社
社殿は県有形文化財。境内には舞殿が残る。



54 えび坂入口
Y字路を右へ急な坂道を5分ほど上がる。



58 太神宮常夜灯
上ぬしやの筋向かいにある。嘉永三年(1850)。



59 石標
元三の宿場は萩原と名張ほぼ中程になる。右には三本松道路元標。



57 上ぬしや
本陣を務めていた西澤家。



60 元三の街道
元旅籠「ますや」と「ぬしや」が並ぶ。

- 地図内凡例
- 道標類
 - 常夜灯
 - 神社仏閣
 - 地藏類
 - その他
 - まちがえやすい分岐料道

この部分は11ページをご覧ください

(6) 三本松

(宇陀市室生区三本松～県境)



61 琴引峠跡の碑
長命寺境内にあるが、元は跨線橋手前であった。



62 白鳥神社
伊勢で亡くなった日本武尊の霊が白鳥となって飛来したという伝承が残る。



63 川口家前の青面金剛
庭の奥にあるので見学は声をかけて。



64 元本陣
道を挟んで庭園が残る。



67 安産寺
榎の一本造りの子安地蔵は重要文化財。



66 三本松海神社
祭神は祈雨止雨の豊玉姫命で、室生竜穴神社から勧進されたと伝えられる。



65 常夜灯
日露戦争集結記念として明治三十九年に建立。



68 道の駅「宇陀路室生」
村出身の造形作家、井上武吉のデザイン監修による。



69 長瀬の町並み
鍍絵が二階壁面に残る食料品店。



71 室生寺への道標
辻堂の軒下には室生山絵図を掲げる。



72 県境の地蔵群
国道のカーブ右側にある。道路の横断は注意!



73 三重県境
近鉄の鉄橋をくぐると県境はもうすぐ。

- 地図内凡例
- 道標類
 - 常夜灯
 - 神社仏閣
 - 地蔵類
 - その他
 - まちかえやすい分かれ道

索引

青越え伊勢街道とその周辺の街道遺物の掲載ページと、地図上の番号を検索することができます。

あ		さ	
新しい伊勢本街道の道標	P 7-25	篠畑神社	P11-44
あぶらや	P 7-28	三本松海神社	P14-66
天野橋	P 8-38	シュウタレ入口の庚申	P 7-22
安産寺	P14-67	白鳥神社	P14-62
伊勢辻の道標	P 4-4	地藏堂	P11-45
伊勢辻橋	P 4-5	常夜灯 (山辺三)	P11-43
石の覆いを設けた地藏	P 5-14	墨坂神社	P 8-37
えび坂入口	P13-54	墨坂伝承地碑	P 7-24
えび坂からの眺め	P13-56	墨坂伝承地碑	P 7-27
エノキの巨樹	P11-46	石標 (福地)	P 8-33
大野海神社	P13-53	石標 (元三)	P13-59
大野寺への道標	P13-52	宗祐寺	P 8-31
大野の道標	P12-49		
		た	
か		太神宮常夜灯	P13-51
角石の道標	P 8-29	太神宮常夜灯	P13-58
春日天皇妃陵	P 6-21	太神宮灯籠	P 8-30
上化粧坂からの眺め	P 4-11	多羅尾瀨への道標	P 5-13
上ぬしや	P13-57	天満神社にある常夜灯	P 6-17
川口家前の青面金剛	P14-63	天満台東入口	P10-39
北向き地藏	P13-55	天満宮前の道標	P 4-10
供養碑と庚申堂	P 6-20		
供養塔	P11-42		
県境の地藏群	P15-72	な	
庚申辻の道標	P 4-12	長瀬の町並み	P15-69
庚申堂の辻の道標	P 8-34	二階の鏝絵	P15-70
国道との合流点	P 8-36	ぬれ地藏	P11-41
琴引峠跡の碑	P14-61		
御陵への道標	P 6-19		

は	
長谷寺	P 4-9
長谷寺駅	P 4-1
長谷寺参道入口	P 4-2
長谷寺前の道標	P 4-7
長谷山口神社	P 4-3
半焼橋	P11-48
福地の町並み	P 8-32
法起院境内の道標	P 4-6
宝物殿内の道標	P 4-8

ま	
前川家	P 7-26
まち外れの道標	P 8-35
三重県境	P15-73
道の駅「宇陀路室生」	P14-68
ムラサキ地藏下の道標	P 7-23
室生区境の峠	P11-47
室生寺への石標	P12-50
室生寺への道標	P15-71
元三の街道	P13-60
元本陣	P14-64

や	
山辺赤人の墓道標	P10-40
吉隠の道標	P 6-15
吉隠の風景	P 6-18
吉隠万葉歌碑	P 6-16

街道関連市町村 桜井市
宇陀市 榛原区
宇陀市 室生区

あとがき

青越え伊勢街道（初瀬街道）と伊勢本街道をメインルートとする、風景街道「伊勢街道」連絡協議会では、街道沿いで活動する団体と街道を歩く人々のふれあいを通じ、魅力あるみちづくり、地域づくり活動を進めています。協議会の取り組みの一環として、ウォーキングマップを制作いたしました。ご協力いただきました関係市町村、街道沿いの皆様にお礼申し上げます。

このマップは三重県生活部文化課（平成9年当時）の、みえ歴史街道「初瀬街道」ウォーキングマップと同じ仕様で編集。縦じ方を逆にしていますので、奈良県側からはこのマップを表紙に、三重県側からは「初瀬街道」マップを表紙として利用することができます。

お気づきの点がございましたら、ご指摘いただければ幸いです。当協議会では、今後とも皆様のご意見を参考に、より充実した活動を続けていきたいと考えております。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

このウォーキングマップは、桜井市長の承認を得て、桜井地形図を使用して調整したものです。承認番号 桜都第6615号

編集：紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
発行：風景街道「伊勢街道」連絡協議会
事務局：奈良県土木部道路建設課広域計画課
〒633-8501 奈良県登大路町30
TEL 0742-27-7495